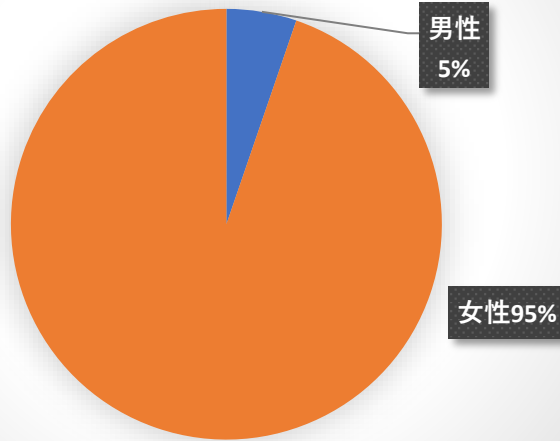
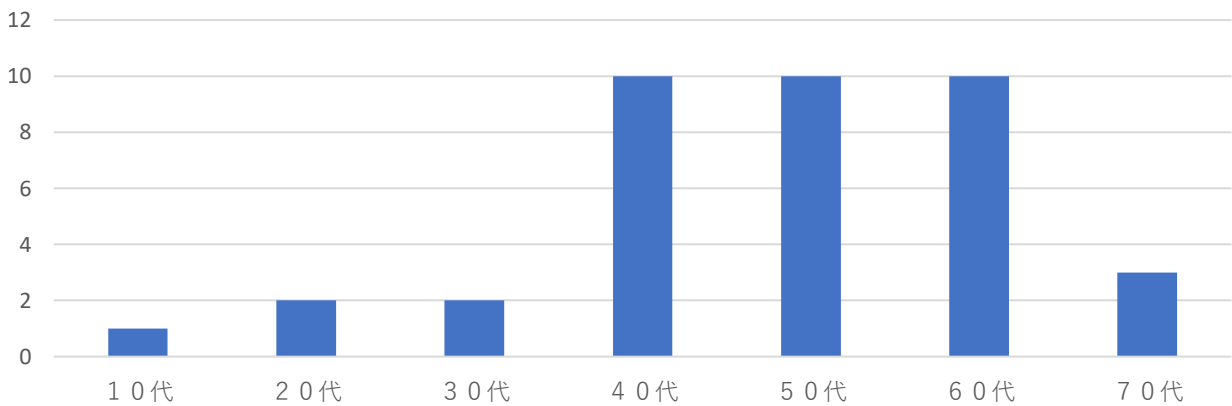


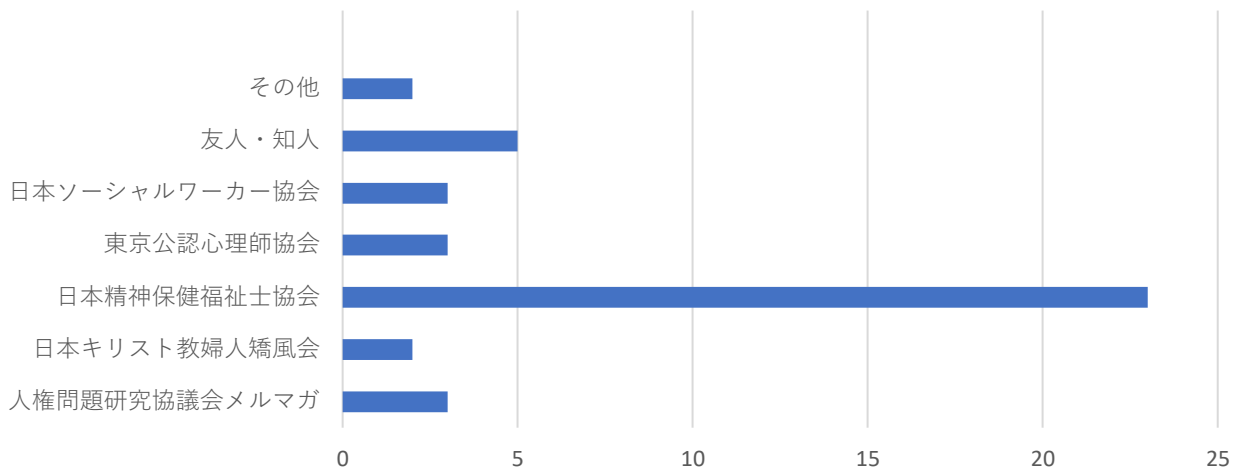
### Q1.性別



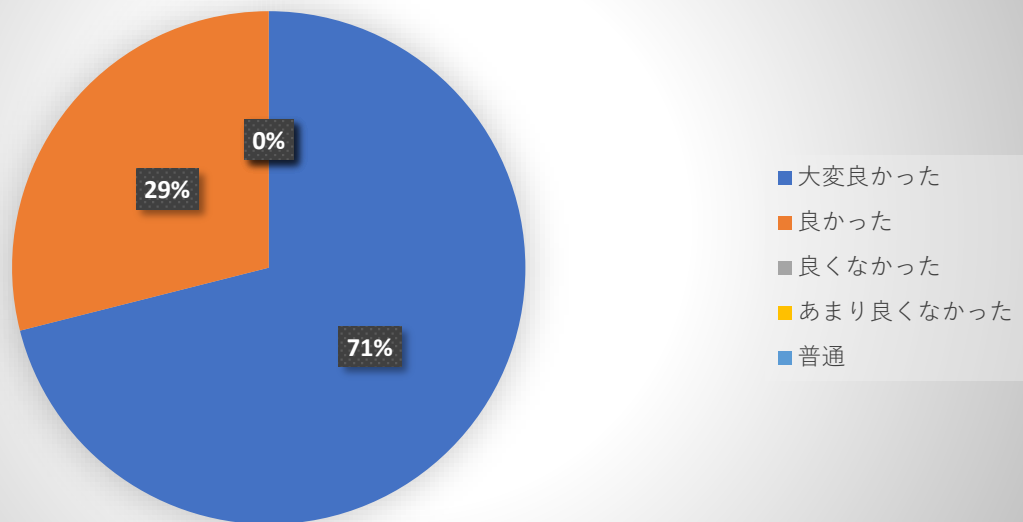
### Q2.年齢



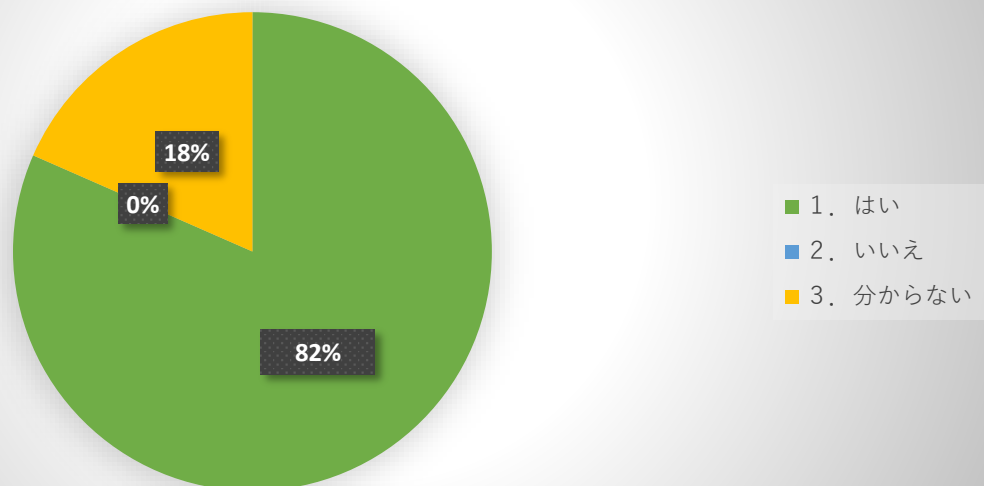
### Q3.今回、YouTubeセミナーが開催されることをどこでお知りになりましたか。



#### Q4. 今回のオンラインイベントにどのくらい満足していますか。



#### Q5. 次回のオンラインイベントにも参加したいと思いますか。



#### Q6 今後取り上げて欲しいテーマや講師等がございましたらご記入ください。

- ・ 人格障害について 子ども食堂について
- ・ 小児逆境体験を経て親になった人の子育て支援について。その方自身の感情統制や対人関係面での困難に加えて、支援への乗りづらさを感じることもあるため。
- ・ LGBTに関する話
- ・ 家庭不和の家庭への支援
- ・ ヤングケアラー 貧困問題（コロナ禍の影響含む）
- ・ 夏苺先生のグループワークやSSTの講義や実習をとりあげてほしいです。よろしくお願ひ致します。
- ・ 学校現場で働く精神保健福祉士や心理職の方の講話を聞いてみたいです。
- ・ 親子間の共依存性

Q7.今回のセミナーイベントに対して、ご意見・ご要望・ご感想等がございましたらお聞かせください。

- ・ 夏苺先生のお話をじっくり聴いてみたかったのでとても良い機会でした。自宅で1人で聴けた事も良かったように感じました。
- ・ 定年退職後に精神科病院を離れて地域で何か出来ることはないかと考えているので、今しばらくじっくり考えたいと思いました。
- ・ 夏苺先生の実体験と専門家の知識で客観的に分析されていた事や何をして欲しかったのが分かり、深い学びとなりました。
- ・ 新しい発見として、運因があること、人肌くすりが腑に落ちました。支援者として働いていて、人肌くすりを提供したいと思うときがあり、それで良かったんだと認めてもらえた気がしました。
- ・ 夏苺先生の本は拝読していました。今回は子どもの虐待ということで先生のお話を伺えて、多々勉強になることがありました。再度資料を見て自分の仕事、または市民としての関わりに活かすことができたらと思います。
- ・ 虐待件数が年々増えるなかで、子どもたちが安心して生きる難しさを感じつつ同時に親となる保護者も辛い事を日々保育に従事しながら感じています。自分の事を語る事って本当に大切だと思います。しかしその語りを誰に聞いてもらうのかということの大切さを感じました。助けて欲しいと願っても言葉が届きにくいからこそ、子どもたちに携わる様々な機関であったり、地域の人であったり関心を寄せ合える関係が出来たらと思いました。貴重なお話ありがとうございました。
- ・ 大変貴重なお話をありがとうございました。当事者の視点と支援者の視点の両方をうかがうことができ、とても参考になりました。
- ・ 2時間弱いろいろな思いが沸き起こり、まだ整理がついていませんが、ありがとうございました。添付の資料に今後目を通したいと思います。
- ・ 質疑の場面で話された過去に虐待を受けた大人は「トラウマの冷凍保存」を抱えている。それは安全な場所で繰り返し語られることで溶かすことができる。という言葉がとても心に響きました。同時に虐待を受けた子供へのアプローチには親の同意がなければ子供の信頼を得られないというご説明もとても腑に落ちました。また、先生ご夫婦の関係性から、たとえ精神科臨床に携わっていても、家族という他人を自分の育った家庭と重ねずに見ることは不可能であること。諦めることが肝心であるということは気持ちを楽にして頂けました。様々な気づきを頂ける大変貴重な機会をありがとうございました。
- ・ 夏苺先生の書籍を拝読し、今回の講演に興味を持ったため申し込みをさせていただきました。児童虐待についてのニュースが次々に報道されていることに日々胸が苦しくなります。私は精神科病院で勤めており、虐待を受けて育った方と出会うことがあります。今回の講演を拝聴し、夏苺先生がどのような思いでこれまで生きてきたのか知ることが出来ました。想像することしか出来ませんが…。虐待を含め、辛い思いをしてきた方との関わりにおいて、少しでも安心感が持てるように努めたいと感じました。ありがとうございました。
- ・ 録音がいまいちで講師の話はまあまあ聞けたが質疑応答が聞き取りにくかった。
- ・ 夏苺先生の言葉ひとつひとつが心に響きました。私はきょうだいの立場であり、親と共に兄の病には向き合うことが出来ました。生きる上で愛が如何に大切か改めて感じました。
- ・ 自分が青年期にやってきたことで、思い出しては自己嫌悪に落ちることが、先生の話聞き少し

腑に落ちた気がして、気持ちが楽になりました。その時の私自身も、誰に相談して良いか分からず、また、相談したとしても状況は変わらないだろうと考えていました。今は現在進行形で精神科に従事しており、思春期の子供たちと関わることもあり、今日の講演の内容を心に留め、子どもさんだけでなく、親御さんへの関わりにも生かしていきたいと思いました。貴重なお話を聞くことができ、ありがとうございます。

- ・ 貴重な機会を有難うございました。私の母は、ややパーソナリティに問題のある人でした。自分の思い通りにいかないと、大声で怒鳴りつけたり…物にあたり、室内を滅茶苦茶にした事もございました。幼い頃の私は、母の側によると、怒鳴られたり叩かれたりが日常でしたが、同居していた父の母が私を守り、時には親戚の家に連れ出し、温かい時間を過ごせるようにしてくれました。祖母をはじめ、親戚等には大変お世話になり、当時から可愛がっていただいた事に感謝しております。仕事に忙しく、祖母をはじめ周囲の母に関する父への忠告を、ほぼ聞かずに過ごしていた父は、私が10代～30代前半まで、母の暴言と共に、家庭内では母の言いなりでいた為、更に私を含めた周囲の被害は大きくなっていました。こうした生育環境から、若い頃の私は、かなりストレスがかかり生活していた時期がございました。私自身は、現在、社会福祉士・精神保健福祉士として仕事をしていますが、先生のお話から、私自身の勉強不足を改めて感じました。これからも様々な学ぶ機会を増やし、精神分野の理解を深め、実践していきたいと思います。有難うございました。
- ・ 貴重な体験から精神科治療の話をお聞かせいただきありがとうございました。
- ・ 辛い体験を広くソーシャルワーク関係者にお話し下さりましてありがとうございました。
- ・ 事務局のみなさま、ありがとうございました。「人との関わりでできた傷は人との関わりでしか治せない」という言葉が胸にささりました。過酷な環境に生きている子どもたち、また生きてきた大人たちとの関わりのノウハウを教えてくださいました。ありがとうございます。
- ・ 先生が「人の痛みは追体験できない」とおっしゃっていましたが、まさにその通りで、支援者の立場で時折無力感を感じます。しかし、全て理解することはできなくても、先生がこのようにご著書や講演会等でご自身の体験や想いを伝えてくださることで、つらい経験をしている方の状況や想いに寄り添おうと思う人が増えると思います。先生、ありがとうございます。
- ・ 夏苺さんの何冊ものご著書と講演に出会え、自分の生い立ちのトラウマを修復できた、人間を回復できた、みのり多い時期となりましたこと、厚くお礼申し上げます。感謝です。